

八洲学園大学 中長期計画推進に関する方針

八洲学園大学は、令和5年3月31日に、それまで10年間にわたって実施した第二期中長期計画を終了し、令和5年4月1日から、10年間の第三期中長期計画として実施するが、その計画策定に関する方針を以下のように定める。

1. 策定方針

第三期中長期計画は、第二期中長期計画に引き続き、建学の精神、教育の理念、使命・目的を普遍的指針とし、併せて教育方針である三つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）に基づき、本学の将来像を見据えながら教育研究の向上と健全な大学経営を推進することを目的とする。

2. 中長期計画の基準分野

中長期計画の基準分野として、教育研究、学生の受け入れ・学生支援、大学運営、社会連携・社会貢献、の4分野を設定する。インターネットを活用した通信制の大学であるという特性や、社会や時代の要請を受け入れて、本学の目標・課題解決に向けた基本的な分野を基準として設定したものである。

3. 基準分野と基準項目

各基準分野に基準項目を定める。本学の限られた組織資源を有効に活用し、重点的に取り組むべき基準項目を基準分野ごとに選択したものである。

4. 基準項目と行動項目

各基準項目に行動項目を定める。10年間にわたる計画であるので、各基準項目を細分化して、段階的に計画の実行を確認し、促すようにしたものである。

5. 中長期計画の運用について

中長期計画は、三つのポリシーを実現に導き、本学の質の維持・向上を図る内部質保証の中心的役割をもつとの認識のもと、恒常的に計画実行の検証を行う。

検証活動は、基本分野1と基本分野2は教務委員会で行い、基本分野3と基本分野4は総務委員会で行う。全体としての責任は総務委員会がもち、内部質保証推進部会での検証をリードして、計画の実行性を確保する。

(令和6年1月23日策定)